

大学名	大阪歯科大学歯学部
講座、分野（教室）名	小児歯科学講座
主任教授	有田憲司

講座の特色

大阪歯科大学は昨年4月に医療保健学部ができ、正式名称が大阪歯科大学歯学部に変更になりました。本講座は昭和43年に創設され、今年で50周年を迎えます。稗田豊治教授、大東道治教授そして現在の有田憲司教授で3代目になります。2018年4月現在、常勤の医局員は助教以上の教員9名、大学院生6名、病院医員3名、研修医（非常勤）20名が在籍しています。また、医局員の出身大学が、本学だけでなく、徳島大学歯学部、朝日大学歯学部、神奈川歯科大学、奥羽大学歯学部、鶴見大学歯学部と多彩なのも特色です。

本講座（Team ARITA）は「Anything is possible. The harder you work, the luckier you get.（不可能なことは何もない。努力すればするほど、運はついてくる。）」をモットーに、世界的なレベルで小児歯科学および小児歯科臨床に貢献することを目指し、毎週、止揚会というオープン勉強会を開催するなど、講座員一丸となって日々研鑽を積んでいます。

診療室の実際

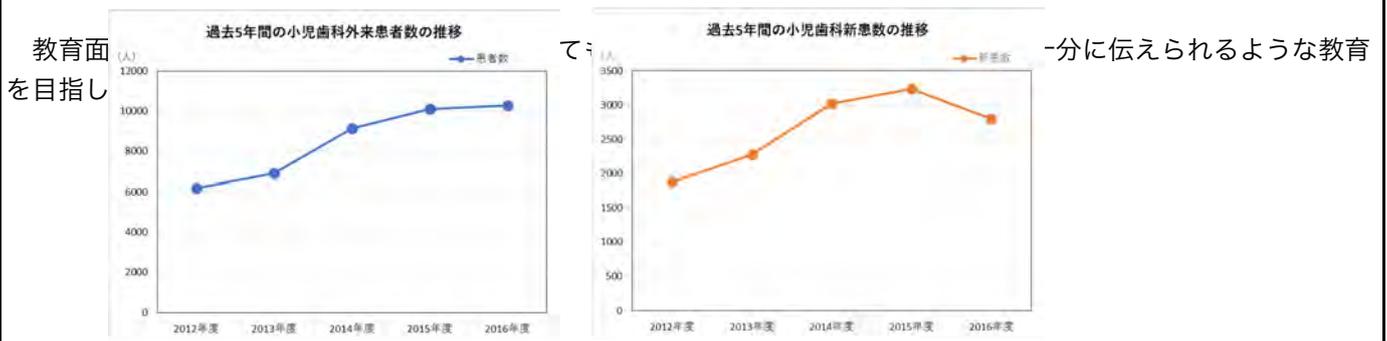
天満橋病院

設備	チェア数： 10台
	個室： 3室
スタッフ	受付： 2名
	歯科衛生士： 3名

講座の活動内容

臨床では、「老後にいたるまで全ライフステージを健やかに過ごすためのたくましい健康を獲得するために、小児期に健康意識、健康行動および口腔健康増進を育む」ことを使命とし、新生児から成人するまでの健康児、障害児および有病児、すなわち全ての小児を対象に、長期口腔保健管理を基盤として、健全な永久歯咬合の育成及び育児支援を行っています。具体的には、齲蝕の予防と治療、歯周疾患の予防と治療、咬合誘導処置、埋伏過剰歯の抜歯、嚢胞の摘出、歯の再植、外傷歯の処置等、小児のために広範囲かつ高度の歯科医療を行っています。また、小児の歯科不安、歯科恐怖を予防・軽減するために、小児の行動科学に基づく診療を実施していること、および摂食嚥下障害児の機能療法を行っていることなども特徴の一つです。

研究では、①生体材料の研究開発（新規アパタイトグラスアイオノマーセメントの開発、プラズマイオン注入法による歯科材料・装置の表面改質）、②乳歯歯髄および歯根膜の分子生物学的研究で、現在科学研究費を受けて「新概念の齲蝕管理システムICCMSに適した新規高機能性材料の商品化への戦略的研究」、「乳歯歯髄由来細胞における抗炎症メカニズムの解析」、「在宅診療に適した象牙質再生能を有する多機能型修復材料の開発」、「乳歯歯髄由来細胞の低酸素培養における未分化能の検討」の研究を行っています。



大学名	大阪歯科大学		
講座、分野（教室）名	小児歯科学講座		
主任教授	有田憲司		
講座医局員研修プログラム責任者	原田京子		
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本小児歯科学会専門医 日本障害者歯科学会認定医		
講座医局員研修プログラムの特色			
<p>乳幼児期から思春期にいたる小児の口腔疾患の予防および治療（歯冠修復、歯内療法、歯周処置、外科的処置や咬合誘導など）を総合的に行っており、摂食・嚥下訓練なども実施している。</p> <p>研修では、小児患者の初診、診査、診断、治療および定期健診の総合的小児歯科フローチャートに基づく診療体系を実践・習得し、また、小児および保護者との対応およびコミュニケーションの方法を習得することを目的としている。</p> <p>また当講座では、症例検討会や臨床研修会を定期的に行っており、これらに参加することでより高度な知識を習得できる。</p>			
講座医局員研修プログラムの内容			
	大学院生		病院医員、研修医（非常勤）
1年目	<p>①大学院講義</p> <p>②臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>③症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>④学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>⑤研究テーマに関する実験実習</p> <p>実験的研究に参加することにより、実験計画、実験準備、機器の取り扱い、データ処理などの手法を修得する。</p> <p>⑥Research progress meetingでの発表</p> <p>研究結果を解析してまとめ、Research progress meetingにおいて発表し、討論する。</p>	1年目	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p>

<p>2年目</p>	<p>①大学院講義</p> <p>②臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>③症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>④学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>⑤研究テーマに関する実験実習</p> <p>実験的研究に参加することにより、実験計画、実験準備、機器の取り扱い、データ処理などの手法を修得する。</p> <p>⑥Research progress meetingでの発表</p> <p>研究結果を解析してまとめ、Research progress meetingにおいて発表し、討論する。</p>	<p>2年目</p>	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p>
<p>3年目</p>	<p>①大学院講義</p> <p>②臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>③症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>④学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>⑤研究テーマに関する実験実習</p> <p>実験的研究に参加することにより、実験計画、実験準備、機器の取り扱い、データ処理などの手法を修得する。</p> <p>⑥Research progress meetingでの発表</p> <p>研究結果を解析してまとめ、Research progress meetingにおいて発表し、討論する。</p>	<p>3年目</p>	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p>

4年目	<p>①大学院講義</p> <p>②臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>③症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>④学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>⑤研究テーマに関する実験実習</p> <p>実験的研究に参加することにより、実験計画、実験準備、機器の取り扱い、データ処理などの手法を修得する。</p> <p>⑥Research progress meetingでの発表</p> <p>研究結果を解析してまとめ、Research progress meetingにおいて発表し、討論する。</p>	4年目	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p>
卒後 1年目	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>④Research progress meetingへの参加</p> <p>講座内研究に参加し、Research progress meetingにおいて発表、討論する。</p> <p>⑤専門医試験への準備</p>	5年目	<p>①臨床実習・実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。 <p>②症例検討会および抄読会への参加</p> <p>症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表</p> <p>学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>④専門医試験への準備</p>

<p>卒後 2年目</p>	<p>①臨床実習・実技 ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。</p> <p>②症例検討会および抄読会への参加 症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表 学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>④Research progress meetingへの参加 講座内研究に参加し、Research progress meetingにおいて発表、討論する。</p> <p>⑤専門医試験への準備</p>	<p>6年目</p> <p>①臨床実習・実技 ・齲蝕、外傷、咬合誘導、外科的処置および歯周疾患に対する処置を自験する。 ・齲蝕予防管理を行う。 ・発達障害児、全身疾患を有する小児、歯科的不協力児の長期口腔管理を行う。</p> <p>②症例検討会および抄読会への参加 症例検討会にて検討を行うことにより、そこから導き出される新たな問題点等の検証を行う。また、洋書輪読会を通して英文の読解力および英語の表現法を身につける。</p> <p>③学会参加・発表 学会等に積極的に参加し、学外の専門医・認定医等との交流によって議論を発展させ、より深い学問および臨床に対する造詣を身につける。</p> <p>④専門医試験への準備</p>
-------------------	--	---

大学名	大阪歯科大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学講座
主任教授	有田憲司

本学および他大学の研修医修了者のキャリアデザインに向けてのフローチャート	
*1：欠員があり、小児歯科科長および病院長の許可が必要 *2：欠員があり、主任教授および学長の許可が必要	
詳細	
大学院生	病院医員・研修医（非常勤）
講座への入局希望受付期間：9月～2月	講座への入局希望受付期間：9月～2月
願書提出時に必要な書類： https://www.osaka-dent.ac.jp/faculty/dent_grad/admission.html	願書提出時に必要な書類： http://www.osaka-dent.ac.jp/hospital/saiyo/kensyu.html
問合せ先：原田京子 (kyoko-w@cc.osaka-dent.ac.jp)	

上記以外で本学小児歯科学講座で学びたい者のキャリアデザインに向けてのフローチャート	
*1：欠員があり、小児歯科科長および病院長の許可が必要 *2：欠員があり、主任教授および学長の許可が必要	
詳細	
大学院生	病院医員・研修医（非常勤）
講座への入局希望受付期間：9月～2月	講座への入局希望受付期間：9月～2月
必要な書類： 大学院生： https://www.osaka-dent.ac.jp/faculty/dent_grad/admission.html	必要な書類： 研修医： http://www.osaka-dent.ac.jp/hospital/saiyo/kensyu.html
面接あり（面接の日程は入局希望の連絡を受付後、教授と相談の上決定）	病院医員：要問合せ
	面接あり（面接の日程は入局希望の連絡を受付後、教授と相談の上決定）
問合せ先：原田京子 (kyoko-w@cc.osaka-dent.ac.jp)	